

令和5年度 大学院医学研究科 医学研究講義Ⅱ 日程表 (旧科目名称:基礎臨床共通講義Ⅱ-医学研究特論-)

No.	開講期間	タイトル	担当教員	専門分野	講義内容
1	R5.06.16(金) 10時 ~ R5.06.23(金) 10時	DNAメチル化プロファイルによる腫瘍分類とその技術的背景	里見 介史	病理学	ゲノム異常に基づき、腫瘍は分類され治療方針が決定される。本講義では、脳腫瘍などで応用される新しい腫瘍分類手法を解説する。
2	R5.07.04(火) 10時 ~ R5.07.11(火) 10時	静脈奇形に対する硬化療法の確立に向けて	尾崎 峰	形成外科学	静脈奇形に対する硬化療法は、いまだ保険適応となっていない。本講義では硬化剤の研究から臨床応用、そして保険適応までの道筋を概説する。
3	R5.07.21(金) 10時 ~ R5.07.28(金) 10時	Vogt-小柳-原田病およびCOVID-19ワクチン接種に関連した眼炎症疾患について	中山 真紀子	眼科学	Vogt-小柳-原田病の疫学、病態、診断、治療について、また、近年流行しているCOVID-19のワクチン接種に関連した眼炎症疾患について解説します。
4	R5.08.04(金) 10時 ~ R5.08.11(金) 10時	がんの薬物療法	宮 敏路	呼吸器・甲状腺外科学	細胞障害性化学療法、分子標的薬剤、免疫チェックポイント阻害剤など、がんの薬物療法の基礎について概説します。
5	R5.09.05(火) 10時 ~ R5.09.12(火) 10時	(未定)	長谷川 浩	総合医療学	(未定)
6	R5.10.11(水) 10時 ~ R5.10.18(水) 10時	熱傷と再生医療	海田 賢彦	救急医学	熱傷診療の現状を踏まえ、熱傷創と脂肪由来幹細胞に関する研究について講義する。
7	R5.10.24(火) 10時 ~ R5.10.31(火) 10時	Helicobacter pylori感染と胃内細菌叢	大崎 敬子	感染症学	Helicobacter pylori感染は胃癌のリスクと考えられているが、H. pylori除菌後も胃癌が発生することが多数報告されている。またH. pylori 感染の有無に関わらず、自己免疫性胃炎患者の胃癌発症との関連についても知られている。胃癌発症のリスク因子としての、H. pylori 以外の胃内細菌叢に着目して研究している。講義では胃内細菌叢の解析方法についても解説する。
8	R5.11.07(火) 10時 ~ R5.11.14(火) 10時	胃外科治療に関する研究と女性外科医の生き方	大木 亜津子	消化器・一般外科学	胃癌に対する内視鏡治療や外科手術に関する日々の小さな疑問を研究につなげてきました。大学院時代から今までに行ってきた胃癌に関する研究を紹介いたします。また、最近では消化器外科領域でも女性医師が増えています。女性外科医のキャリアなどについても少しお話します。
9	R5.12.01(金) 10時 ~ R5.12.08(金) 10時	分泌経路型Ca ²⁺ /Mn ²⁺ ポンプ SPCAの生理機能	山本 幸子	化学	細胞内のCa ²⁺ 動態を制御するタンパク質の一つSPCAの生理機能と、これが原因となって生じる疾病との関わりについて紹介いたします。
10	R5.12.14(木) 18時 ~ (ZOOMによるオンライン講義。当日のみ)	光を使った医学研究ーバイオセンサーの開発と応用ー	大石 篤郎	肉眼解剖学	赤・青・緑などの多様な色彩は反射する光の波長によって決まります。下村博士が発見したGFP(2008年ノーベル賞を受賞)を始め、光技術が昨今のバイオロジー・医学研究に大きな影響を与えております。本講義では蛍光・発光・吸光・FRET・BRETといった光の現象の基本から応用までを解説し、それら光技術を用いたバイオセンサー開発の医学研究応用についてお話します。
11	R6.01.16(火) 10時 ~ R6.01.23(火) 10時	食物アレルギーを用いたナッツアレルギーの病態解明・高精度診断法の確立	安戸 裕貴	臨床検査医学	近年急増するナッツアレルギーに対する正確な診断法の確立や病態の解明が求められている。本講義では、これらに関する我々の研究成果や今後の展開について紹介する。
12	R6.01.26(金) 10時 ~ R6.02.02(金) 10時	脳動脈瘤の遺伝子変異に基づく病理病態研究と分子標的薬の開発	中富 浩文	脳神経外科学	くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤の発生・破裂の病理病態は、未解決課題である。外科手術時に摘出された脳動脈瘤のゲノム解析により同定した、数百の体細胞変異中の特に脳動脈瘤形成に影響を及ぼすと思われる十数遺伝子について検証を行い、頻度が最も高い遺伝子に関しては人脳血管不死化細胞・新規脳動脈瘤マウスモデルを用いて、脳動脈瘤新生並びに治療薬による抑制データを得た。平行して胚細胞レベルでの遺伝子変異の動脈瘤発生における意義を検証している。
13	R6.02.02(金) 10時 ~ R6.02.09(金) 10時	ショウジョウバエを用いた神経科学研究	栗崎 健	生物学	モデル生物と広く研究に利用されているショウジョウバエを用いた神経科学研究について解説します。
14	R6.02.13(火) 10時 ~ R6.02.20(火) 10時	脊髄障害後の運動機能再建	鈴木 伸弥	統合生理学	脊髄の圧迫や外傷によって錐体路が損傷されると、運動麻痺をきたす。本講義では脊髄障害後の運動回復の機序と運動再建方法について解説する。
15	R6.02.27(火) 10時 ~ R6.03.05(火) 10時	糖尿病骨代謝異常の基盤病態の解明	高橋 和人	糖尿病・内分泌・代謝内科学	糖尿病骨代謝異常に関し、当教室においてこれまで解明することができた病態を報告する。

【医学研究講義について】

- 全てWeb形式で開講します。各講義の事前に、Web講義用URLをメールでお知らせいたします。
- 講義資料の視聴・閲覧だけでは出席と認められません。開講の際に通知する講義レポートに、氏名を明記のうえ回答・送信することで出席とします。
- 講義資料が動画の場合、ファイルサイズが大きくなります。ネットワーク環境が整っている場所で視聴することを推奨します。
- 講義資料はダウンロードできません。また、講義資料は大学院生の視聴・閲覧のみを目的として作成しています。大学院生以外の方の視聴・閲覧、画像のコピーや転載・転用は固く禁止します。

【公開論文発表会】

- 公開論文発表会・日程等は、医学研究科HPにより逐次公表します。参加1回で医学研究講義Ⅱを1コマ受講したものとみなします。但し、2コマを限度とします。
- 出席確認として、公開論文発表会「参加者名簿」に記載が必要です(記載が無い場合、受講したと認めません)。

【特別講義(特別講演会)及び、イブニングセミナー】

- 日程は、医学研究科HPにより逐次公表します。参加1回で医学研究講義Ⅱを1コマ受講したものとみなします。
- 出席確認として、特別講義(特別講演会)「参加者名簿」に記載が必要です(記載が無い場合、受講したと認めません)。